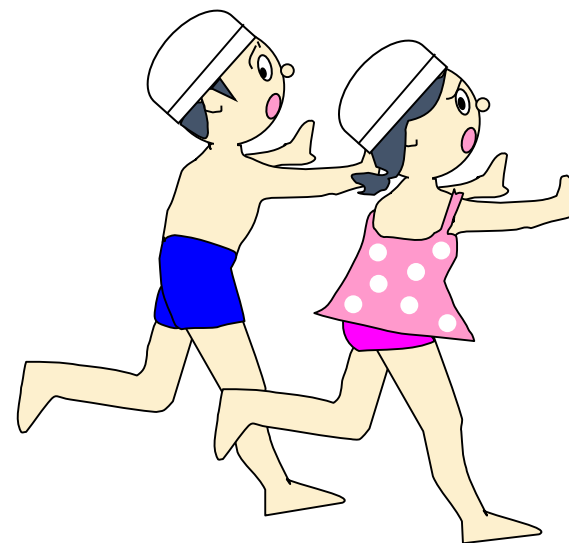


まぜるな危険！！

塩素ガス発生予防と発生時の対応について

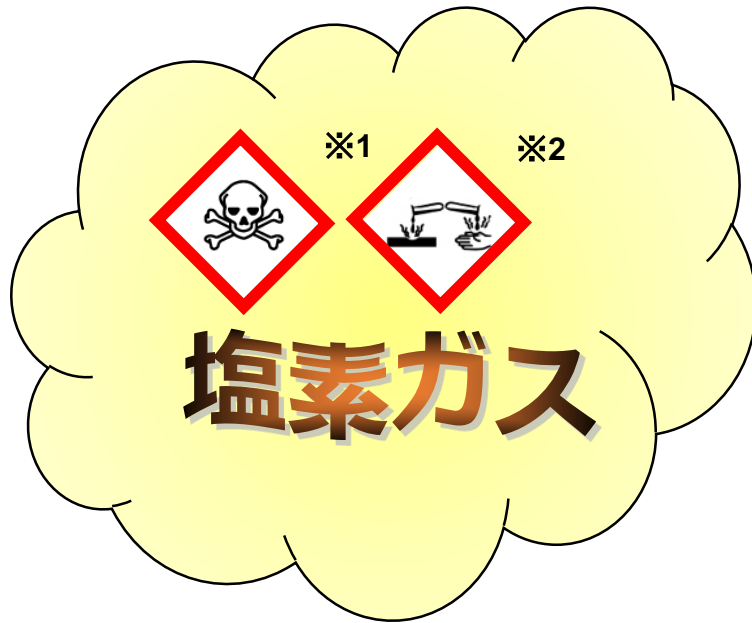


※GHS（化学品の分類および表示に関する世界調和システム）の絵表示1は「急性毒性」、2は「重篤な目の損傷、皮膚刺激」がある化学物質に用いられます。



東京都保健医療局
東京都西多摩保健所

塩素ガスとは…



※GHS（化学品の分類および表示に関する世界調和システム）の絵表示1は「急性毒性」、2は「重篤な目の損傷、皮膚刺激」がある化学物質に用いられます。

- 塩素系溶液と酸性溶液を混ぜると発生する、刺激性のある黄緑色の毒性がある気体です。
- 催涙性や眼、皮膚、気道に対する腐食性があります。
- 吸入すると肺気腫を起こすことがあります。また、許容濃度を超えた場合は死に至ることもあります。

プールで誤混入されやすい組み合わせ

アルカリ性

塩素剤

次亜塩素酸ナトリウム
など

酸性

凝集剤

ポリ塩化アルミニウム(PAC)
硫酸アルミニウム



混合すると塩素ガスが発生

アルカリ性の塩素剤と酸性の凝集剤を混合すると、
塩素ガスが発生します！

塩素ガスを発生させないために

事故防止の 3つのポイント

Point
1

各薬剤の保管場所を決める。

Point
2

各タンクに
薬剤名表示・色分けなどを行う。

Point
3

薬剤の取り扱い担当者を決める。



塩素ガスを発生させないために

Point 1

各薬剤の保管場所を決める

- 薬剤はそれぞれ施錠可能な保管場所で管理すること。
- 保管場所に薬剤名称を表示すること。
- 水にぬれないこと。(床への直置きもNG!)
- 直射日光が当たらないこと。

日常的に使用しない凝集剤
(ポリ塩化アルミニウムなど) は
使用時のみ、納入することも
有効な方法です。



※営業プールなのか学校プールなのかによって最低限求められる構造設備基準が異なります。不明な点など、詳しくは、保健所までご連絡ください。

塩素ガスを発生させないために

Point 2

各タンクに
薬剤名表示・色分けなどを行う

- それぞれのタンクを色分けや薬剤名表示により
区別する。
- 入れ間違いを防止するため、タンク周りに
薬剤を保管しない。

※表示例

日常的に使用しない凝集剤の
タンクは施錠し
誤投入を防ぐことも有効です。



塩素ガスを発生させないために

Point 3

薬剤の取り扱い担当者を決める

- 薬剤取り扱い担当者の育成。
- 薬剤取り扱いマニュアルの作成。
- 担当者の不在時の事故をなくすための複数の担当者の設置や事前の対応。

取り扱いマニュアルには、塩素剤や凝集剤の取り扱い方法、混合の危険性、補充方法等誰がどのように行うかを明確にし、従業員全員に周知しておくことが大切です。



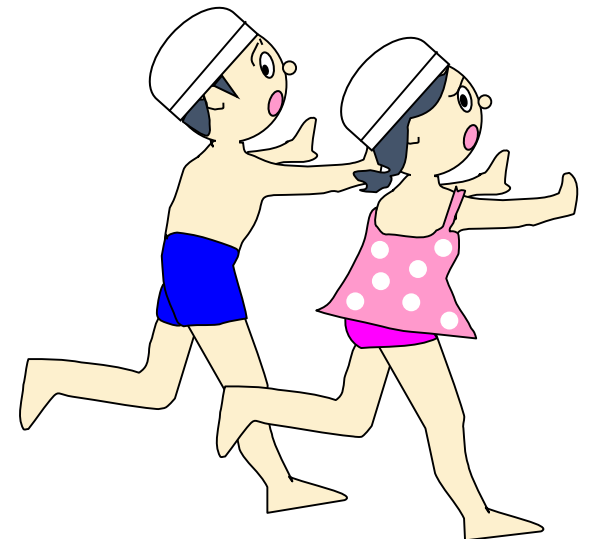
もし、塩素ガスが発生したら…

1

すみやかに退避する！

(全てのプール利用者を退避させる。)

絶対に塩素ガス発生現場に戻らない！



もし、塩素ガスが発生したら…

2

すみやかに消防へ通報！



もし、塩素ガスが発生したら…

消防の指示に従い対応！
その後保健所への連絡！

3



【アンケートのお願い】

御視聴いただき、ありがとうございました。

当動画の下の概要欄にあるURL又は
通知文掲載の二次元コードから、
アンケートの回答をお願いします。

また、受講済証の発行を希望する場合は、
アンケート回答画面から保存・使用できます。

適宜ご利用ください。